

雲仙市 ごみ減量チャレンジ 第6回

問 環境政策課 ☎0957-38-3111

雲仙市では、1人が1日出すごみの量を**850グラム**まで減らすことを目標としています。
この目標達成のためには、一人ひとりが「ごみ問題」を意識し、環境に配慮した生活や行動をすることが求められます。市民の皆さまのご協力を、よろしくお願いします。
ごみを減らすための方法や、ごみ出しで多い間違いをご紹介します。

●減らさんば！ お宝です 使い終わった 小型家電



市役所や各総合支所の入口などに設置されている左の画像のような水色の細長い箱をご存知でしょうか？

投入口のサイズは横が約30cm・縦が約15cmで、ここに入る大きさまでの家電製品を回収する「**小型家電回収ボックス**」といいます。

サイズ内であれば、ほとんどの家電製品が対象となっており、ここで回収された小型家電は、材料の鉄やアルミ、貴金属、レアメタルなどに分けられ、リサイクルされます。

ボックスに入れる際の注意点

- 電池を使用するものは、必ず電池ははずしてください。
- 電気スタンドの場合、必ず蛍光灯や電球・LED球ははずしてください。
- 投入口に入らない大きさのものを、無理に押し込まないでください。

対象品目や設置場所については、市ホームページ、または環境政策課へお尋ねください！



●分けんば！ 気をつけて 間違いの多い 缶とびん

雲仙市では空き缶と空きびんを通常の不燃ごみとは別に収集していますが、資源ごみとして収集している缶・びんは、**口に入れても大丈夫なものが入っていた容器のみ**です。



空き缶・空きびんで収集する主なもの ◎水ですすいでから出してください。	・ジュースやお茶、コーヒーなどの飲料水の缶 ・ビールやお酒、調味料、錠剤や飲み薬のびん →ふたは、はずしてください(※)。ラベルはそのままでも大丈夫です。 ・クッキーやせんべいなどのお菓子や粉ミルクが入っていた缶 →中の紙やビニールの仕切り、金属ではないふたなどは、はずしてください。(※) ※はずしたものは缶・びんと一緒に入れないでください。
空き缶・空きびんでは収集しない主なもの ◎不燃ごみで出してください。	・化粧品や消毒液などのびん ・蚊取り線香やペンキなどの缶 ・殺虫剤や芳香剤などのスプレー缶

注意！

収集するものであっても、サビついたり汚れがひどいものは、再利用ができませんので不燃ごみとして出してください。また中に吸い殻など他のごみを入れないでください。

空き缶と空きびんは同じ日に収集しますが、空き缶は水色の文字、空きびんはオレンジ色の文字のごみ袋です。**一緒に入れてしまうと収集できません**ので、ご注意ください。

お手数をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いします！